

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	26年度
事業名	水道施設耐震化事業	担当課	上下水道課
細分化した事業名			

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	安全・安心に生活できる地域体制の構築／心地よい定住環境のあるまちづくり	
	政策	防災体制の強化／快適に暮らすための生活環境の充実	
	施策	耐震化の促進／上下水道の整備	
関連する個別計画等	地域水道ビジョン	根拠条例等	水道法

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	水道施設の耐震化を図り、災害時にも水道水の安定的な供給を行える様にすること。
事業の手段	水源から浄水場への管路（導水管）、水源から配水池を結ぶ管路（送水管）及び、配水池から災害拠点の施設までと災害時に拠点となる病院、避難所までの管路を基幹管路とし、災害時にライフラインの断絶を防ぐ為に、耐震性を有する管材・設備等(管材の耐用年数約100年)に変更する。 浄水場、受配水池、配水池等の中で、配水時に拠点となる施設が被災時にその機能を損なわない様に対策を行う為の基礎調査。
事業の対象	韮崎市上水道の給水区域内の内、主要管路及び主要な浄水場、受配水池、配水池。

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)	-----	329,690	279,703
財源内訳	国・県支出金	-----		
	その他(使用料・借入金ほか)	-----	94,000	164,000
	一般財源	-----	235,690	115,703
B	担当職員数(職員E) (人)	-----	2	2
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	-----	13,374	12,982
D	総事業費(A+C) (千円)	-----	343,064	292,685
主な事業費用の説明		本事業は平成24年度より始まった事業であるので、H23年度については対象外とする。		

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
活動指標	1 基幹管路耐震化延長	年間耐震化済み延長(累計)	-----	4.0km(4)	4.3km(8.3)
	2 基幹管路耐震化延長	耐震化済み延長(累計)	23.7km	27.7km	32.0km
	3 施設耐震基礎調査数	年間施設耐震基礎調査箇所数(累計)	-----	5箇所(5)	18箇所(23)
妥当性		<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない			
上記活動指標と妥当性の説明	1	災害時のライフライン確保の為に耐震化を順次図っており、整備延長を更に伸ばす必要がある。			
	2	災害時のライフライン確保の為に耐震化を順次図っており、整備延長を更に伸ばす必要がある。			
	3	浄水場ほか水道施設については、耐震化の必要性を事前に基礎調査し、その結果に従って詳細調査や耐震化を実施する必要がある。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	計画進捗率 (基幹管路)	-----	7.6%	15.8%
	2	施設耐震基礎調査率	-----	9.6%	44.2%
	3	1km当り耐震化経費	-----	32,322千円	30,402千円
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	10年間の計画延長(76.2km)に比して、年度別進捗率は計画通り進んでいる。 (76.2km=既存分23.7km+計画分52.5km)			
	2	耐震化基礎調査施設箇所数に比して、年度別進捗率は計画通り進んでいる。(総施設数52箇所を4年で耐震化基礎調査を行い、詳細調査の有無、耐震化を図る施設を決定する。)			
	3	他公共事業と同時期に施工することにより、掘削や舗装復旧費を抑え、kmあたりのコストを大幅に下げている。			

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	26年度の改善計画(今後の事業展開説明) ルートや距離など基幹管路の見直しを行い、効率的な配水が出来るようにする。また、他公共事業と併せて施工することにより、かかるコストを最小限にし、更なる延伸を積極的に図る。 H24 4.0km(中田町小田川地内他)施設5箇所 H25 4.3km(葦崎町本町二丁目地内他)施設18箇所 H26 5.5km(中田町中条地内他)施設9箇所 H27 5.5km(旭町北原地内他)施設20箇所 H28~H33 年約5.5km程度(本町二丁目地内他)
過去の改善経過	他公共事業の際に管路を布設し、コストを抑えた。 施設については、耐震の基礎調査を行っており、災害時において、主要な施設の機能を必要最小限維持できる程度の耐震化を図ることにより、コストを抑えている。
課長所見	災害に対する市民意識の高まる中、災害時最低限の飲料水を確保することは急務であるため、計画箇所において行う工事について、効率的な施工など、コスト削減を行い、早期に耐震化する必要がある。